

0歳児カリキュラム

		Ⅰ期（4～6月）		Ⅱ期（7～9月）		Ⅲ期（10～12月）		Ⅳ期（1～3月）					
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生活リズムを大切に、無理なく新しい環境に慣れる。 保育教諭等との関わりの中で、信頼関係を築く。 		<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の体調を把握し、快適に過ごせるよう、夏の保健衛生に留意しながら沐浴や水遊びの心地良さを味わう。 保育教諭等に要求をしっかりと出し、受け止めてもらうことで安心感をもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> 保育教諭等や他児との関わりを喜んだり、関心をもったりする。 気候や体調に気を付け、散歩や戸外遊びを十分楽しみ、いろいろな物や小動物、自然に興味をもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> 安定した環境の中で、自分で好きな遊びを見つけて楽しむ。 自分でしようとする気持ちを保育教諭等に受け止めてもらうことで、動作や言葉で表現する喜びをもつ。 大好きな保育教諭や物を仲立ちとしながら、友達と一緒にいることが楽しいという気持ちをもつ。 					
月齢		産休明け～3か月未満		3か月～6か月未満		6か月～9か月未満		9か月～12か月未満		1歳～1歳3か月未満		1歳3か月～1歳11か月	
配 慮	養護	<ul style="list-style-type: none"> 食事、睡眠、排泄など生理的欲求を満たし、気持ちよい生活を送れるようにする。 子どもの要求や、気持ちを受け止め、心地よさを感じられるようにする。 											
		<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生活リズムに合わせて、安心して過ごせるようにする。 不快を感じる状態を常に確認し、衛生面に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 腹はいなどで移動するようになるので、危険のないよう見守る。 口に物を運ぶので、飲み込みや衛生面に十分注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠のリズムの変化に応じて、活時間や活動内容を調整する。（生活リズムを調整していく） 3回寝から2回寝に移行していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きが活発になると、危険も増すことを想定し、物の配置に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味が広がって、よく動き回り、思わぬところで事故が起きるので十分注意する。 排泄では一人一人のタイミングを見て、オマルに慣れていくようにする。 1回寝に段々と移行していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の着脱など自分でしようとする意欲を十分に受け止め、必要に応じて援助する。 						
内 容	Ⅰ健康 (健康な体をつくる力) Ⅱ人間関係 (人と関わる力) Ⅲ環境 (自然や身近な環境に関わる力) Ⅳ言葉 (思いを伝える力) Ⅴ表現 (感性豊かに表現する力)	<ul style="list-style-type: none"> 3～4時間間隔でミルクを飲む。 音の出るおもちゃや柔らかい素材のおもちゃに興味をもち、触れようとする。 語り掛ける保育教諭等を注視する。 保育教諭等の声かけに反応するように喃語を発する。 伸び伸びと手足を動かす楽しさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 5～6か月頃より離乳食(初期食)をはじめ、乳汁以外の味に慣れる。 周りの環境に興味をもち、手を出して自ら関わろうとする。 身体を動かしたり、動かしてもらったりすることを喜ぶ。 安心できる保育教諭等との関係を結ぶ。 あやし遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食(初期食、中期食)を食べ、いろいろな味に慣れる。 手に触れたものをつかんだり、落としたりして遊ぶことを楽しむ。 身近な保育教諭等に親しみをもち、少しずつ他の保育教諭等にも関心をもつ。 はいはい、つかまり立ち、伝い歩き、歩行などで十分に身体を動かす。 ゆさぶり遊び、感触遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食(後期食)を食べる。 スプーンや手づかみ等で自分で食べようとする。 コップを持って飲もうとする。 戸外に出て、自然や小動物など興味をもったものに触れ、手差し、指差しなどで保育教諭等に伝えようとする。 歌や音楽に興味をもち、リズムに合わせて身体を動かして楽しむ。 絵本を見て興味のある場面を指差しして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食(完了食)を食べる。 スプーンを使って自分で食べようとする。 排泄の時、保育教諭等に促されてトイレに座る。 指先を使った活動ができるおもちゃで遊ぶことを喜ぶ。 見守られているという安心感の中で、人間関係を広げる。 絵本に興味をもつ。 絵本を見て好きな場面を模倣して楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> スプーン、フォークを使い、食器に手を添えて食べようとする。 歩くことの楽しさや、発達に応じた動きを積極的にしようとする。 生活に見通しをもち、行動する。 人の模倣を楽しんだり、生活再現を楽しむ。また、見た物を身ぶりで伝える。 簡単なお話の場面を大人と一緒にごっこ遊びで楽しむ。 						
	<ul style="list-style-type: none"> ●環境構成 ★保育教諭等の援助 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の生活リズムに応じて、ゆったりとした温かい雰囲気の中で生活できるようにする。 ●つりおもちゃや音の出るおもちゃ、柔らかい素材のおもちゃなど成長発達に見合った清潔なものを用意する。 ●一人一人安心して眠れる静かな環境をつくる。 ★授乳やおむつ交換は視線を合わせて優しく声をかけながら、心地よさを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の発達や健康状態を把握し、安定した心地よい生活ができるようにする。 ●おもちゃなどは常に点検、洗浄、消毒をして清潔を保つ。 ★触れ合い遊びなどを通して信頼関係を築くとともに、言葉と身体の発達を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●お座りや腹ばいになるなど活動の範囲が広がるに伴い、安全で活動しやすい環境を整える。 ★発達に合った運動遊びができるような言葉掛けをしたり、玩具の位置を工夫したりして、楽しく遊べるようにする。 ★一人一人の発達の状態に合わせて、離乳食の開始時期や内容を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●興味や発達に合わせて、子どもの好奇心を満たせるような探索活動を活発に行えるように環境を整える。 ★子どもの伝えようとする表情や指差し、気持ちを大切に受け止め、共感したり、分かりやすい言葉で語りかけたりしていく。 ★自分で食べようとする意欲を大切に、様々な味や食感に慣れていけるようにする。また、しっかりと噛むことが大切なので、歯ぐきでつぶせる硬さで形のある調理形態にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歩くことが楽しくなり、行動範囲が広がるので、安全面に十分注意し、伸び伸びと遊べるようにする。 ★一人一人の思いを受け止め、自己主張ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の遊びや、自分でしたいという欲求が十分に満たされるような環境を整え、喜びが味わえるようにする。 ★友達と関わって遊びを楽しめるよう保育教諭等が仲立ちとなり、一緒に遊んだり、見守ったりして子ども同士の関わりがもてるようにする。 ★スプーン、フォークを使う際、危険な使い方をしないように指導するとともに、食器の使い方を知らせる。 						
<ul style="list-style-type: none"> ★睡眠時は呼吸や顔色・体勢などを確認し、乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防に努める。 ★離乳食は家庭と連絡を取り合い、無理なく進める。 ★家庭と連携し、個々の生活リズムを24時間見通して整うよう配慮する。 													